

東御の普通の暮らし研究所 岩井屋にお菓子の家 地元の高校生らが製作



お菓子の家に入ったりして楽しむ利用者ら

東御市田中のNPO法人普通の暮らし研究所(岩井孝司理事長)が運営する障がい者通所施設の岩井屋にお菓子の家を作り25日、利用者や職員らがクリスマス会を兼ねて完成を祝つ

た。お菓子の奇贈は、明治ホールディングス(東京)の株主たちが福祉関連事業などに対して行う社会貢献の活動。同NPOに県を通じて話があつた。

岩井理事長(50)は「すぐ食べるより、夢のある形で楽しめるといい」と考え、グリム童話にちなんで職員が発案した「お菓子の家」作りを採用。届いた板チョコ120枚や紙パ

ックジュース108本など5万円相当の明治のお菓子を、厚紙製の家の屋根や壁面3・7mに飾って、クリスマスに合わせて完成した。製作は利用者や職員以外に、東御清翔高校生徒6人や岩井理事長の友人など地域の応援もあつた。

お菓子の家作り計画を担当した介護福祉士の山崎綾華さん(21)らは「利用者さんが楽しんでみながら集団行動の力を身に付けたり、考える力を養うことにつながる」と考えた。年明けの早い時期まで飾つて、その後は利用者のおやつにしたいという。

ご購入申し込みは●読売センター小諸Ⅷ0267(41)